

平成 27 年度 第 1 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 27 年 5 月 29 日（金）15:30～15:42
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 平成 27 年度「三重県行財政改革取組」具体的取組 年次計画について

【中野行財政改革推進課長】（資料 1 に基づき説明）

昨年度までに 52 の具体的取組のうち 46 取組が達成し、残りの 6 項目について別表のとおり推進していく。9 月の定例会議で上半期実績の、2 月の定例会議で年度実績の見込みを報告する予定である。

（質疑等なし）

議題 2 次期の行財政改革の取組について

【中野行財政改革推進課長】（資料 2 に基づき説明）

来年度以降の取組について、現行取組の検証、次期行動計画の着実な推進、機動的で柔軟かつ弾力的な行政運営の推進という 3 つの観点を踏まえて検討していく。今後のスケジュールとしては、8 月まで検証等を行ったうえで、9 月定例会議に素案、11 月定例会議に中間案を説明したのちに、パブリックコメントの実施を経て、2 月定例会議に最終案を説明する予定である。

【西城子ども・家庭局長】

「協働」の先にある「協創」だが、「協働」がきちんとできていない感がある。足元から見直すことが必要ではないか。行政だけでなく、NPO の担い手も少なくなってきた。

【中野行財政改革推進課長】

その点も踏まえて検討していく。

議題 3 平成 27 年度幸福実感日本一（政策）職員提案制度について

【中野行財政改革推進課長】（資料 3 に基づき説明）

これまでの提案者や提案を受けた部局等からいただいた意見を基に適宜内容の見直しを行っており、今年度は、質問票と職員賛同・共感の意見を募る仕組みを追加した。

部局内の職員に積極的な提案をいただくような後押しと、提案を受けた内容の採用に向けたご協力をお願いしたい。

（質疑等なし）

【鈴木知事】

次期の行財政改革の取組については、地方財政が厳しくなることが予想される中で、皆が現在のポジションにこだわらずに知恵を結集するような作り方であってほしい。仕事をやりやすくしていこう、職場環境を良くしていこうという観点でもよいし、県民の皆さんから見てこうあってほしいと思う行財政改革にすることを大事にしてほしい。